

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名： ぽっぽ白鳩

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	9	4	1		66	2	0	2	・広くて使いやすく、とても良い施設だと思います。 ・お庭があり、外遊びが出来て嬉しくす。	・適切なスペースや多様な遊具があるので、有効活用できるように工夫する。
	2 職員の適切な配置	9	5	0		57	6	0	7	・先生の名前と顔が分かるものが欲しい。(専門職など)	・職員は名札をつける。 ・現在玄関に全職員の顔写真を掲示している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	12	1	1	・防護マットを敷いたり、子どもに合った部屋にし、充分活動できるように配慮している。	64	4	0	2		・安全かつ動きやすいように考え、マットを敷いたりバリアフリーにしたりするなど、子どもの特性に応じた設備整備をしている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	14	0	0		67	1	0	2		・安心・安全・清潔を基本に心地よく過ごせるよう、環境を整えると共に生活習慣の習得に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	11	3	0	・ミーティングは毎朝、日の目標設定や職員の周知を行い、療育後には反省を行い、改善点などを話合って周知し、活動に生かす。	/	/	/	/	/	・ミーティングや職員会により、日々の療育についての振り返りを行ったり毎月2回の研修会を設けたりし、職員の更なる資質の向上に努めている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	14	0		/	/	/	/	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	11	3	0	・ミーティング、職員会で研修を行う。	/	/	/	/	/	・ミーティングや職員会において日々の振り返りを行い、職員の資質向上に努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	13	1	0		66	3	0	1		・保護者との更なる連携に努める。 ・現在、ニーズや課題を的確に捉え、療育に生かしている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	13	1	0		68	1	0	1		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	13	1	0		/	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/		/	/	/	/		
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	12	2	0	・保育所訪問の実施	/	/	/	/	・コロナ禍で十分な保育所訪問ができづらかったが、更に他事業所との情報交換と計画的な保育所訪問を実施したい。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	13	1	0		/	/	/	/		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	10	4	0		/	/	/	/		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	13	1	0	・児童クラブ未来との交流を行ったり、児童館への訪問や児童館の先生の来所などの交流活動を実施している。	64	2	0	4	・色々なところへ連れて行っていただき、児童クラブなど他の子どもたちとの交流もあると思います。 ・子どもの話や職員の方が教えてくれた時のみ分かる。	・児童館や児童クラブ未来との交流など色々な体験を通して、相互理解を深めることが出来た。活動の場や内容を充実させていきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	13	1	・運動会や秋祭り等開かれた行事を行っているが、コロナの関係で交流は十分ではなかった。	/	/	/	/	・事業所に対する理解が深められるよう、地域へ開かれた事業所づくりに努力して実施している。	
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	14	0	0		66	3	0	1	
		2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	14	0	0	・文章で支援連絡、来所時に各自説明している。	65	3	1	1	
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		0	13	1	・コロナ禍で開催できないが、常に準備はある。	50	5	1	14	・情報収集のアンテナをはり、保護者の困り感や心配事等の把握に努め、コロナ禍でできなかったペアレントトレーニングを工夫して行う予定。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	14	0	0	・送り迎え時に話したり、ノートでの連絡を行う。	66	4	0	0	・今後も面談や連絡ノート等で日々の課題などを伝えあうことを、しっかりとしていきたいです。	・保護者に寄り添い、願いや望みに沿って療育を行い、日々の連絡を密にしたい。 ・送迎の際にその日の出来事や支援内容を伝えたり、連絡ノートも活用して連携を取る。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	13	1	0	・相談があった時には、児発管、管理者、園長等に意見を聞き、助言するようにしている。 ・送り迎え時やノートに記入があるなどで支援している。	63	5	0	2		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2	6	6	・コロナ禍でSTOPしている。	26	12	7	25	・コロナの中、交流の場を設けるのはなかなか難しいのではと思います。	・今年はコロナの為、なかなか実施することができなかった。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	13	1	0		53	3	1	13		
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	13	1	0		63	5	0	2	・電話はいつも丁寧に受けてくださり、警報時など急な対応も助かっています。 ・相談先がわからず、そのままになっています。 ・情報や通知が遅いため、予定の調整が大変な事があります。(参観日等)	・情報や通知等保護者の立場で考え、更に迅速に周知するようにしたい。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	14	0	0	・毎月1度、「ぼっぼ便り」を発行し、日々の活動内容や行事について周知したり、一部活動の写真も載せている。	64	2	0	4		・保護者に対し、待つだけではなくこちらから発信していく。(報連相)
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	14	0	0		62	4	0	4		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	9	5	0	・マニュアル作成にまでは至っていない。	48	6	1	15		・口頭や研修で分かりやすく、周知徹底を図ると共に、全職員へ対応、方法について細かいマニュアルを作っていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	14	0	0		43	3	0	24	・子どもから訓練したことを聞いた時のみ、わかる。	・災害時、児童なりに自分の命は自分で守れることがしっかり身につくよう、シェイクアウト訓練等については何度も実施したい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	10	4	0							
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	6	8	0							
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	14	0	0							・命に関わる事柄なので、職員全員に周知し、朝のミーティング時に再確認し、それを実施している。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	14	0	0	・ヒヤリハット紙に記入して共有している。						